



FIELD MUSEUM NEWS

2024 December
vol. 08

地域交流研究センター活動

10月

- 10/3 文大ボランティアひろば
- 10/9 シリウスカレッジ
「ライフUP・ふるさとUPコース」
- 10/12 子ども公開講座
「手作り石鹸やキャンドルを作ろう」
- 10/19 地域インクルーシブ教育
- 10/24 文大ボランティアひろば
- 10/25- 東京の病弱教育の主人公たち作品展
- 10/26 学級づくりの向上をめざす実践講座
- 10/30 シリウスカレッジ
「ライフUP・ふるさとUPコース」

11月

- 11/6 シリウスカレッジ
「ふるさとUPコース」
- 11/8 第1回星空観察会
- 11/9 ムササビ観察会
- 11/9 地域インクルーシブ教育
- 11/10 地域インクルーシブ教育
- 11/11 ミニミニ大学
- 11/14 文大ボランティアひろば
- 11/16 湧水さんぽ
- 11/16 ムササビ観察会
- 11/20 シリウスカレッジ
「ライフUPコース」
- 11/30 子ども公開講座
「VR体験・レーザーカッターでデジタル工作」
- 11/25 富士急行沿線地域活性化プロジェクト
成果報告会
- 11/30 学級づくりの向上をめざす実践講座

12月

- 12/7 地域インクルーシブ教育
- 12/7 第2回星空観察会
- 12/11 シリウスカレッジ
「ふるさとUPコース」
- 12/12 文大ボランティアひろば
- 12/14 ムササビ観察会
- 12/15 「ぶらっとはうす」クリスマス会
- 12/18 シリウスカレッジ「ライフUPコース」
- 12/18 文大名画座「帆花」
- 12/23 谷ニラボ

地域交流研究センター4部門活動報告

地域は、人びとが生まれ育ち、自然とかがわりながら暮らし、文化と歴史を刻みつづけている現場です。そこには、自然・人間・社会のあり方を問い直す手がかりがあります。地域交流研究センターでは、4つの部門での活動を通して、地域全体をミュージアムととらえる「つるぎ-フィールド・ミュージアム」構想を推進していきます。ここでは4部門の10月～12月の活動について紹介します。

NEWS

「障害者の生涯学習支援活動」 文部科学大臣表彰式



地域インクルーシブ教育分野が 文部科学大臣表彰を受賞！

クロスボーダープロジェクト（クロボ）やキャリアデザインワークなど、地域インクルーシブ教育分野において10年以上に渡って実施してきた「障害者の生涯学習支援活動」に対して、上記の賞をいただきました。これを励みに、一層充実した活動を展開してまいります。

共生教育部門



FIELD MUSEUM STUDIES

2024年度は上野原市秋山地区をフィールドに、小・中学校での授業参観や、学校行事、地域のイベントへの参加を通して、地域を舞台にした学習の様子を取材しています。「秋山」でこそローカルかつアクティブな地域学習の魅力を発信できるよう、雑誌『FIELD MUSEUM STUDIES』の企画、執筆を進めています！

自然共生研究部門



キャンパス生きもの Map

毎月2回程度、学生たちと一緒にキャンパス内の動植物の調査をおこなっています。10月～11月の調査では、30種の植物と、センサーカメラではアナグマなどの野生動物が確認できました。将来的にはキャンパス内の生物多様性の全容を明らかにすることが目標です！

グローバル研究部門



留学生自然観察会

11月16日に、留学生・地元の方がたムササビ観察会を行いました。都留の学生たちがムササビの生態について解説をして皆で勉強した後に観察に出かけ、複数回ムササビの滑空を観察できました。観察後はセンターへ戻り、留学生と地元の方がたが親睦を深めました。

まちづくり研究部門



ぶらっとはうすプロジェクト

「ぶらっとはうす」は、富士急行株式会社、都留市と連携し、無人駅である谷村町駅舎において、地域の子もたちと大学生との放課後の居場所づくりを毎週水・金曜日の2回行っています。ふだんは宿題をしたり、カードゲームで遊んだりしており、七夕やクリスマスなどの季節のイベントも行いました。



自然豊かな環境で学ぶ

特集

2025年度 供用開始

都留文科大学の新棟

つるフィールド・ミュージアム

都留文科大学の新棟（「つるフィールド・ミュージアム」）が2024年度に完成します。

ここは、地域全体を博物館（ミュージアム）に見立て、フィールドで自然や人びとの暮らしにじかに触れ学びを深める拠点となる建物です。

新棟には、まちの縁側となるようなテラスや四季の賑わいを感じるガーデン、生きものとの交流が楽しめるビオトープ、木質を基調としたあたたかみのある室内など、学びを支える環境も整えていきます。



被服室

2階には、教員免許に関連した授業や実習で重要な家庭科の教室や実験室が配置されます。私たちの生活に不可欠な衣・食・住について学び、豊かな食体験などを通じて地域の環を育む場となるでしょう。

2F

WC

実験室

調理室

被服室

テラス

建物を建設中です！

本学の音楽棟そばに現在新しい建物を建設中です。2024年度に完成予定で、2025年度に供用開始の予定です。素敵な建物をお楽しみに！



ここに本が入ります！

図書コーナー

図鑑や絵本があります。だれでも自由に読むことができます。本に登場した生きものを野外で確かめたり、野外で出会った生きものを確かめたりできます。

地域交流室

地域での人や自然との交流の成果をまとめ、冊子などさまざまな方法で発信していきます。



雨水のビオトープ

自然の雨水を水鉢に溜めて水辺のビオトープを造ります。水鉢には蓮などを植える予定です。



水路

湧水を利用した水路を造る予定です。都留の湧水地で生育するバイカモなども定着するかもしれません。

食べられるガーデン

テラス周辺には木の実やハーブなど食べられる植物を育てます。収穫を楽しんだり、学びに活用したりします。



生きた学びを体験しよう！



多目的室

副専攻「フィールド・ミュージアム研究プログラム」の演習やゼミ、各種講座にも使える多目的室です。生きた学びが体験できる魅力的なプログラムがあります。

ビオトープ空間

生きものの暮らす空間をビオトープといいます。ここではさまざまな生きものが暮らしやすい植物を育て、生きものと私たちが共存できるスペースをめざしています。小さな森のような空間で、四季折々のうつろいが楽しめます。



生きものとの交流を楽しむ空間

1F



まちの縁側

建物の周りには、木製のデッキが張り巡らされ、まちの縁側としての機能が期待されています。テラスには椅子と机が配置され、くつろぎながら人や自然との交流が楽しめるスペースとなっています。



あたたかな木の空間！



展示コーナー

この建物には「ミュージアム」という言葉が付けられていますが、展示室はありません。展示コーナーにある展示や標本は、野外に出てじかにものを見て確かめるきっかけとなることをテーマにしています。

標本作製室

昆虫や植物の標本を作製します。作製した標本は、展示や自然観察会、授業などで活用できます。

頭骨標本も作れる！



大田堯記念室(仮)

「都留自然博物館」を提唱した、本学の元学長である大田堯先生の原稿など一次資料を中心に保管します。地域の実践にかんする貴重な資料は将来、多くのかたが活用できるように管理・運営していきます。

次号は！

次号いよいよ建物の写真を公開します！素敵な建物の全貌をお楽しみに！



※紙面内のパースや部屋名は現時点のものです